

BJ サーバー連続印刷 ユーザーガイド

BJ サーバー連続印刷のサーバー設定用アプリケーション、クライアント PC 用アプリケーションの設定・メニューについて説明しています。



BJ サーバー連続印刷 ユーザーガイドについて

BJ サーバー連続印刷ユーザーガイド(以下、本書)は、BJ サーバー連続印刷のサーバー側アプリケーション、クライアント PC 用アプリケーションの設定・メニューについて説明するものです。

本書中の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合もあります。

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

I. 概要	1
1. 製品概要	2
1. BJ サーバー連続印刷について	2
2. 環境の確認	2
2. 動作環境	3
1. サーバー設定用アプリケーション	3
2. クライアント用アプリケーション	3
3. 共有フォルダ	3
4. ライセンス	3
II. サーバー設定用アプリケーション	5
1. デスクトップアイコンとメニュー	6
1. デスクトップアイコン	6
2. プログラムメニュー	6
2. サーバー用アプリケーション起動と設定	8
1. アプリケーションの起動	8
2. メニュー	8
3. システム設定ダイアログ	9
4. 全般タブ	10
5. CAD タブ	11
6. 通知タブ	12
7. 結果の自動削除タブ	13
8. ログタブ	14
9. 呼出プログラムタブ	15
10. タイマー呼出タブ	16
11. 予約語タブ	16
3. BJ サーバー連続印刷の使用方法	17
III. クライアント用アプリケーション	19
1. デスクトップアイコンとメニュー	20
1. デスクトップアイコン	20

2.	プログラムメニュー	20
2.	クライアント用アプリケーション起動と設定	22
1.	アプリケーションの起動	22
2.	印刷設定	22
3.	クライアント用アプリケーション	24
1.	印刷依頼	24
2.	各種アイコンの説明	26

IV. プロットスクリプトテンプレート 27

1.	テンプレートフォルダの設定	28
1.	テンプレートフォルダの作成先について	28
2.	サーバー側の設定	28
3.	クライアント側の設定	29
2.	プロットスクリプトテンプレートの作成	30
1.	標準テンプレート	30
2.	標準テンプレートの作成	31
3.	挿入テンプレートの作成	32
4.	作成済みテンプレートの編集	33

V. PDF 振り分けオプション 35

1.	PDF 振り分けオプションの設定	36
1.	PS_pdf.ini の設定	36
2.	PDF 振り分けオプションの動作と仕様	37

<<このページは白紙です。>>

I. 概要

BJ サーバー連続印刷のアプリケーション概要について説明します。

1. 製品概要

BJ サーバー連続印刷の製品内容について説明します。

1. BJ サーバー連続印刷について

BJ サーバー連続印刷はサーバー用アプリケーションとクライアント用アプリケーションとで構成されます。

■ サーバーPC

BJ サーバー連続印刷 サーバー設定用のアプリケーションをインストールします。

クライアントから依頼のあった図面の連続印刷を実行します。

印刷の実行は、ベースとなる CAD が行います。事前にベース CAD のインストールが必要です。

■ クライアントPC

BJ サーバー連続印刷 クライアント用のアプリケーションをインストールします。

BJ サーバー連続印刷 クライアント用のアプリケーションを実行し、連続印刷を行う図面の依頼を行います。

2. 環境の確認

BJ サーバー連続印刷 サーバー設定用、クライアント用をご使用になる前に、Windows やネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください

2. 動作環境

BJ サーバー連続印刷の動作環境について説明します。

1. サーバー設定用アプリケーション

対応 OS : Windows11、Windows 10、Windows Server 2012 以上

bit 数は使用 CAD の対応環境に依存します。

使用 CAD : BricsCAD V17 以上の Pro または Platinum グレード

※V21 からは Platinum グレードが廃止され、Pro グレードのみが対象となります。

2. クライアント用アプリケーション

対応 OS : Windows11、Windows10

各 OS の 64bit 対応

連続印刷の実行は、サーバー用 PC にインストールされた CAD で行います。

3. 共有フォルダ

BJ サーバー連続印刷では、クライアントからサーバーに連続印刷を行う依頼を行います。

この時、サーバーとクライアントで共有されているフォルダを使用します。

そのためこの共有フォルダはサーバーPC、クライアント PC から常にアクセスできる状態である必要があります。

4. ライセンス

BJ サーバー連続印刷では、クライアント用アプリケーションのご使用数のみライセンスが必要です。サーバー用アプリケーションの実行にはライセンスチェックは行われません。

ライセンスの種類

スタンドアロンライセンス:

個々のクライアント PC でアクティベートを実施します。

アクティベート時にはインターネット接続が必要です。

ネットワーク(FlexNet)ライセンス:

ライセンスサーバーによるライセンス管理を行います。

クライアントからライセンスサーバーに接続してライセンスを取得します。

<<このページは白紙です。>>

II. サーバー設定用アプリケーション

BJ サーバー連続印刷サーバー設定用アプリケーションのメニュー・設定について説明します。

1. デスクトップアイコンとメニュー

BJ サーバー連続印刷 アプリケーションのメニューと起動方法について説明します

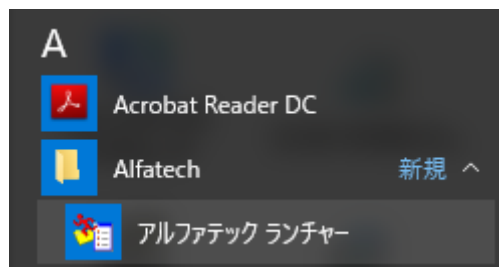
1. デスクトップアイコン

■ デスクトップアイコン

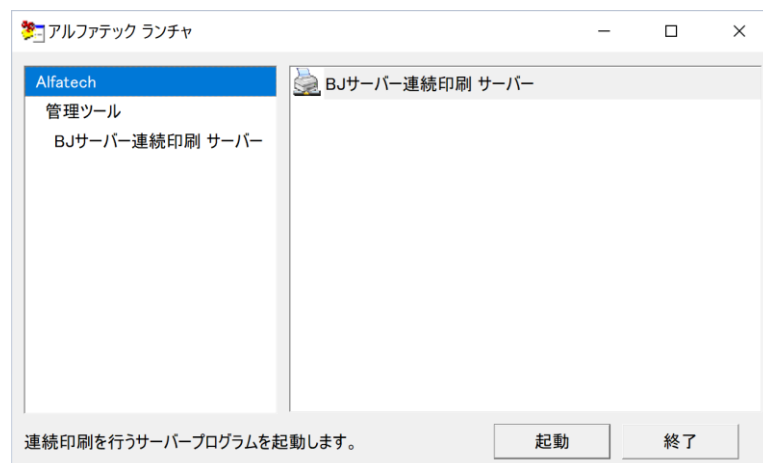


2. プログラムメニュー

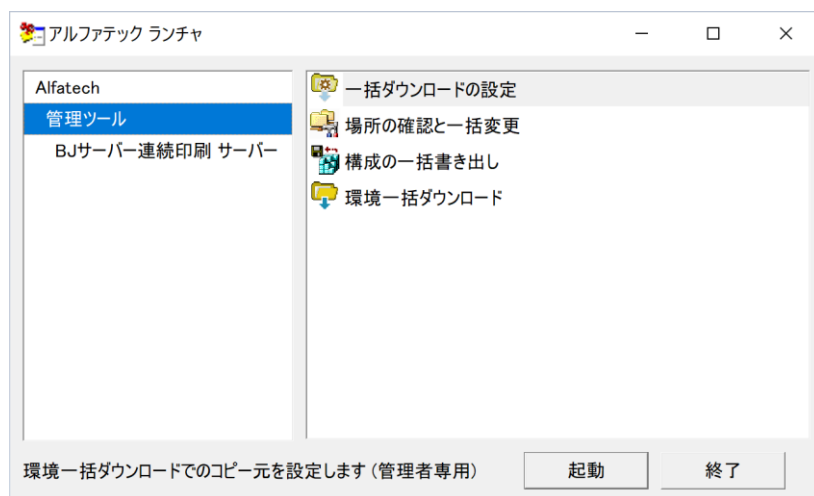
[スタート] - [A] - [Alfatech] - [アルファテックランチャー] を選択します。
アルファテックランチャーから各メニューを起動します。



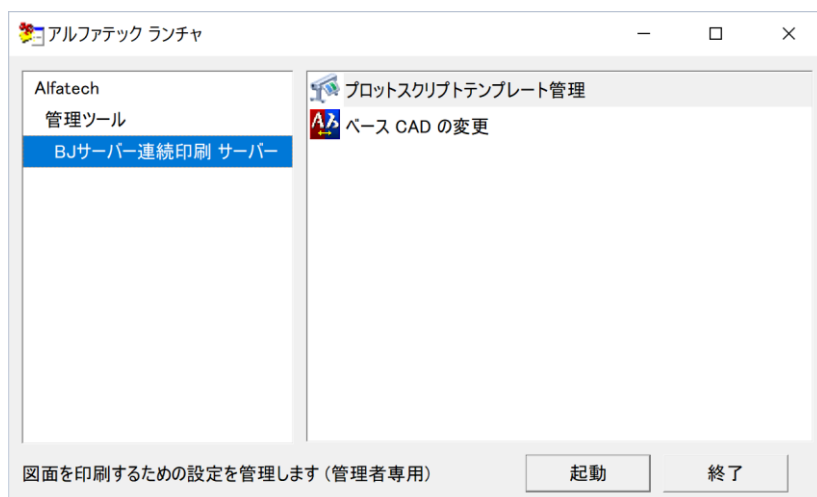
アルファテックランチャー アプリケーション



管理ツール



BJ サーバー連続印刷サーバー



2. サーバー用アプリケーション起動と設定

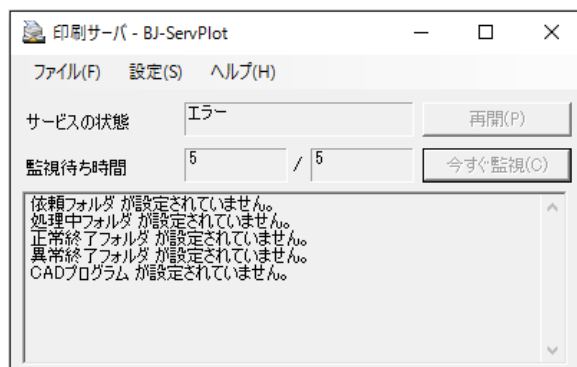
BJ サーバー連続印刷の設定について説明します。

メニューは Windows10 を例に説明します。

1. アプリケーションの起動

デスクトップのアイコンをダブルクリックして起動します。

アルファテックランチャー、またはメニューの「BJ サーバー連続印刷 サーバー」を選択して起動します。

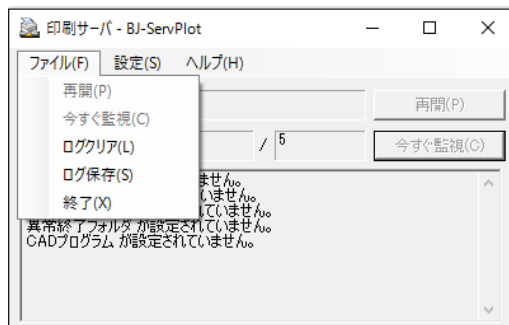


初回起動では、まだ各種設定が行われていません。

そのためダイアログ内にエラーが表示されます。

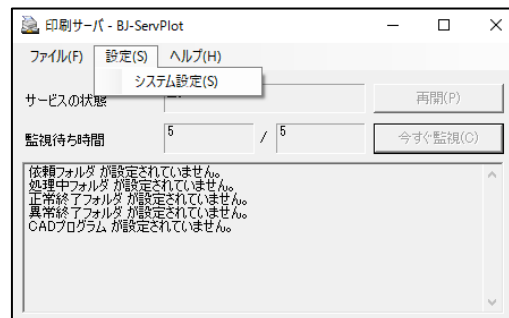
2. メニュー

■ ファイル



クライアントからの連続印刷の依頼を監視します。また、ログのクリア、保存などを行います。

■ 設定



BJ サーバー連続印刷 のサーバー側の設定を行います。

3. システム設定ダイアログ

[設定]-[システム設定]を選択します。システム設定ダイアログが表示します。

システム設定にて、サーバー用アプリケーションの設定を行います。

ダイアログの説明

システム設定

全般 | CAD | 通知 | 結果の自動削除 | ログ | 呼出プログラム | タイマー呼出 | 予約語

サーバ名

依頼フォルダ ...

処理中フォルダ ...

正常終了フォルダ ...

異常終了フォルダ ...

監視時間間隔(秒) 印刷待ち間隔(秒)

☒ .scr.xmlのセットで実行を開始する ☐ .scrで実行を開始する

保存終了(S) 閉じる(C)

システム設定ダイアログ説明

タブ名	説明
全般	クライアントと共有するパス・設定を行います。
CAD	連続印刷を実行する CAD を設定します。 連続印刷のための実行フォルダ、その他の設定を行います。
通知	メール通知の設定を行います。 クライアントからの依頼などのメール通知が必要な場合、設定を行います。
結果の自動削除	印刷結果を自動削除する最大容量、または経過日数の設定を行います。
ログ	連続印刷依頼を監視しているサーバーログの自動作成が必要な場合、設定を行います。
呼出プログラム	PDF 振り分けオプション(PDF 出力時、自動的に指定フォルダへファイルを振り分ける処理)の有効/無効を設定します。
タイマー呼出	.scr の処理完了後、一定時間経過後に呼び出す処理がある場合に設定します。(拡張機能用)
予約語	呼出プログラムの設定において、置換可能なマクロ文字列を確認できます。

システム設定を行う前に、クライアントと共有するパスをご確認ください。

必要に応じて仮想ドライブなどの割付を行ってください。

4. 全般タブ

サーバーが監視を行う依頼フォルダを始めとする、各種フォルダの設定を行います。

ダイアログの説明（イメージは各種フォルダを C ドライブのユーザー下に設定している例です）

項目	説明
サーバー名	サーバーの名称です。任意に入力します。
依頼フォルダ	クライアント側からの依頼ファイルの作成先 クライアント PC に書き込み許可のあるフォルダを指定します。
処理中フォルダ	印刷処理中に依頼ファイルが使用するフォルダです。
正常終了フォルダ	印刷が正常に終了したとき、「処理中フォルダ」からファイルが移動します。
異常終了フォルダ	印刷が正常に終了していないとき、「処理中フォルダ」からファイルが移動します。
監視時間間隔	依頼フォルダに依頼ファイルが作成されていないかを監視する時間間隔を設定します。(デフォルト:5)(秒単位)
印刷待ち時間	前の印刷が完了し、次の依頼を実行するまでの待ち時間間隔を設定します。(デフォルト:5)(秒単位)
実行開始	.scr .xml のセットで実行を開始する 印刷用スクリプトファイル(.scr)と処理するファイルの数(.xml)を指示する場合に選択します。 .scr で実行を開始するの何れかを選択します。 印刷用スクリプトファイル(.scr) のみの場合のみ選択します。

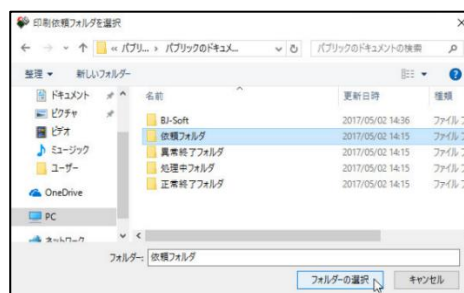
各項目に設定されたパスの参照ボタン[...]をクリックし、パスを指示します。

イメージは“依頼フォルダ”を設定する例です。

(ご注意)

各フォルダ事前に共有設定を行ってください。

クライアント側 PC のアカウントには書き込み権限が必要です。



5. CAD タブ

連続印刷時に使用する CAD の指定を行います。

ダイアログの説明（イメージは BricsCAD V21 を設定している例です）

システム設定

全般 CAD 通知 結果の自動削除 ログ 呼出プログラム タイマー呼出 予約語

CADプログラム C:\Program Files\Bricsys\BricsCAD V21 ja_JP\bricscad.exe

実行フォルダ

引数 (%SCR%置換) /b "%SCR%"

終了待ちプロセス名

終了待ち時間 60 秒 + 5 秒 × 印刷枚数

保存終了(S) 閉じる(C)

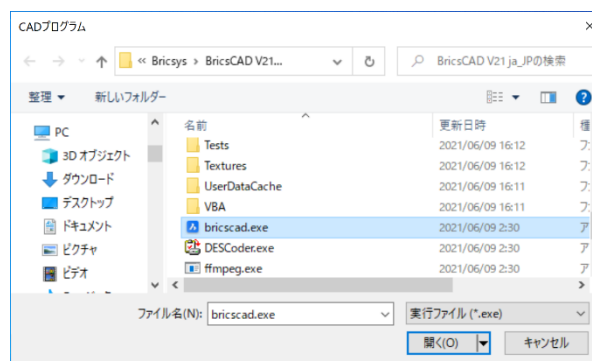
項目	説明
CAD プログラム	サーバーで連続印刷を実行する CAD プログラムを指定します。
実行フォルダ	起動するプロセスの作業フォルダを指定します。(省略可)
引数(%SCR%置換)	実行ファイルに引き渡す引数を設定します。%SCR% は実行されるスクリプトのパスで置換されます。
終了待ちプロセス名	起動する実行ファイルと、実際の CAD のプログラムが異なる場合に、実際の CAD プログラムのファイル名を設定します。(省略可) (ACAD-DENKI などのアドオンソフトを使用している場合などに設定します)
終了待ち時間	CAD 終了後の待ち時間を設定します。

CAD プログラム横の参照ボタン[...]をクリックし、CAD の実行ファイルを選択します。

(イメージは、BricsCAD V21 を設定した例です)

選択後、[開く] をクリックします。

設定が終わりましたら、[保存終了]をクリックして保存します。



6. 通知タブ

印刷が完了した際のメッセージ/メール通知の設定を行います。ここでの設定は任意です。

ダイアログの説明

システム設定

全般 | CAD | 通知 | 結果の自動削除 | ログ | 呼出プログラム | タイマー呼出 | 予約語

※メール送信 ☐ エラー時 ☐ 印刷完了時 ☐ 通知依頼

SMTPサーバー

ポート番号

送信先アドレス

送信元アドレス

※クライアントメッセージ ☐ エラー時 ☐ 印刷完了時 ☐ 通知依頼

通知依頼フォルダ ...

通知終了フォルダ ...

保存終了(S) 閉じる(C)

項目	説明
※メール送信	メールを送信する条件を選択します。2項目とも未チェックの場合、メールは送信されません。 エラー時: エラーが発生し CAD が終了しない場合に「送信先アドレス」にメールが送信されます。 印刷完了時: 印刷完了後に「送信先アドレス」にメールが送信されます。
SMTP サーバー	メール送信サーバーを入力します。
ポート番号	SMTP サーバーに指定したサーバー名のポート番号を入力します。
送信先アドレス	※メール送信でチェックした項目のメールを送信するメールアドレスを入力します。
送信元アドレス	依頼者、または送信先アドレスに設定したメールアドレスに配信されるメールに表示される発信元アドレスを入力します。
※クライアントメッセージ	メッセージメールを送信する条件を選択します。2項目とも未チェックの場合、メールは送信されません。 エラー時: エラーが発生し CAD が終了しない場合に「送信先アドレス」にメールが送信されます。 印刷完了時: 印刷完了後に「送信先アドレス」にメールが送信されます。
通知依頼フォルダ	メール・メッセージによる通知依頼を置くフォルダを指定します。
通知終了フォルダ	通知依頼処理が完了した場合、依頼ファイルが移動されるフォルダを指定します。

■クライアントメッセージについて

クライアントメッセージは MSG.exe を使用して送信します。

サーバー/クライアント間メッセージを送信するためには、最低限以下の設定が必要です。

- ・サーバーとクライアント端末が、同じ Workgroup もしくはドメインに参加している。
- ・クライアント端末にて「ファイルとプリンタの共有」が有効である。

※メールサーバー、ドメイン、ワークグループの設定につきましては、御社管理者様にご確認ください。

7. 結果の自動削除タブ

正常終了フォルダ内のファイルの、自動削除の設定を行います。

ダイアログの説明

The screenshot shows a dialog box titled 'システム設定' (System Settings). It has several tabs: '全般' (General), 'CAD', '通知' (Notification), '結果の自動削除' (Automatic Deletion of Results), 'ログ' (Log), '呼出プログラム' (Call Program), 'タイマー呼出' (Timer Call), and '予約語' (Reserved Words). The '結果の自動削除' tab is selected. Inside this tab, there are two settings: '最大容量' (Maximum Capacity) with a checkbox and a text box containing '0' followed by 'MB', and '最長経過日数' (Maximum Elapsed Days) with a checked checkbox and a text box containing '3'. At the bottom right, there are two buttons: '保存終了(S)' (Save and Exit) and '閉じる(C)' (Close).

項目	説明
最大容量	チェック入力時、印刷終了後に各ディレクトリが指定した容量に達していれば、古いファイルから順に削除します。
最長経過日数	チェック入力時、印刷終了後に各ディレクトリから指定した日数以上経過したファイルを削除します。

8. ログタブ

連続印刷依頼を監視しているサーバーのログを自動作成の設定を行います。

(デフォルト:チェック OFF)

システム設定

全般 | CAD | 通知 | 結果の自動削除 | ログ | 呼出プログラム | タイマー呼出 | 予約語

☐ 毎日、ログを保存 & クリアする

時刻 時 分

保存フォルダ

ファイル名
(YYYY:年 MM:月 DD:日 に置換)

☐ 最大ファイル数

保存終了(S) 閉じる(C)

項目	説明
ログを保存 & クリアする	チェック入力時、設定した時刻・保存フォルダ・ファイル名でログが保存されます。(時:0-23、分:0-59 を指定します)
時刻	ログファイルを作成する時刻を設定します。
保存フォルダ	ログファイルの保存先を設定します。
ファイル名	ログファイル名を入力します。同名ファイルがある場合、追記されます。
最大ファイル数	チェック入力時、フォルダに保存するログファイル数の上限を指定します。上限に達した場合、古いファイルから順に削除します。

9. 呼出プログラムタブ

PDF 振り分け設定(PDF 出力時、自動的に指定フォルダへファイルを振り分ける処理)の有効/無効を切り替えます。

(デフォルト:チェック OFF)

システム設定

全般 | CAD | 通知 | 結果の自動削除 | ログ | 呼出プログラム | タイマー呼出 | 予約語

☐ プレ・ポスト・タイマー処理を有効にする

プレ処理プログラム C:\Program Files\Alfatech\PS_pdf.exe

実行フォルダ

引数 /C "%ProcessingPath%" "%RequestPath%"

--- 正常終了 ---

ポスト処理プログラム C:\Program Files\Alfatech\PS_pdf.exe

実行フォルダ

引数 /S "%ScrName%" "%ProcessingPath%" "%NormalEndPath%" "%ErrorEndPath%" "%MailAddress%" "%ClientName%" "%DwgCount%"

--- 異常終了 ---

ポスト処理プログラム C:\Program Files\Alfatech\PS_pdf.exe

実行フォルダ

引数 /F "%ScrName%" "%ProcessingPath%" "%NormalEndPath%" "%ErrorEndPath%" "%MailAddress%" "%ClientName%"

保存終了(S) 閉じる(C)

設定箇所	設定値(デフォルト)
プレ処理プログラム	C:\Program Files\Alfatech\PS_pdf.exe
引数	/C "%ProcessingPath%" "%RequestPath%"
正常終了の ポスト処理プログラム	C:\Program Files\Alfatech\PS_pdf.exe
引数	/S "%ScrName%" "%ProcessingPath%" "%NormalEndPath%" "%ErrorEndPath%" "%MailAddress%" "%ClientName%" "%DwgCount%"
異常終了の ポスト処理プログラム	C:\Program Files\Alfatech\PS_pdf.exe
引数	/F "%ScrName%" "%ProcessingPath%" "%NormalEndPath%" "%ErrorEndPath%" "%MailAddress%" "%ClientName%"

※置換可能なマクロ文字列は、予約語タブにて確認可能です。

10. タイマー呼出タブ

.scr の処理完了後、一定時間経過後に呼び出す処理がある場合に設定します。(拡張機能用)

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box with the 'タイマー呼出' (Timer Call) tab selected. The dialog has several tabs: '全般' (General), 'CAD', '通知' (Notification), '結果の自動削除' (Automatic Deletion of Results), 'ログ' (Log), '呼出プログラム' (Call Program), 'タイマー呼出' (Timer Call), and '予約語' (Reserved Words). The 'タイマー呼出' tab contains two identical sections for '開始後待ち時間' (Wait time after start) and '完了後待ち時間' (Wait time after completion). Each section has input fields for '秒' (seconds) and '秒×印刷枚数' (seconds × number of pages printed). Below these are fields for '後処理プログラム' (Post-processing program), '実行フォルダ' (Execution folder), and '引数' (Arguments). At the bottom are buttons for '保存終了(S)' (Save and Exit) and '閉じる(C)' (Close).

11. 予約語タブ

呼出プログラムの設定において、置換可能なマクロ文字列を確認できます。

実行フォルダ指定は、いずれかのフォルダパスが指定可能です。

引数は、任意の組み合わせが可能です。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box with the '予約語' (Reserved Words) tab selected. The dialog has the same tabs as the previous screenshot. The '予約語' tab contains a list of macro strings and their corresponding values. The list is organized into sections: '《スクリプトファイルとデータ》' (Script files and data), '《システム》' (System), '《通知》' (Notification), and '※タグ※' (Tag). The '《スクリプトファイルとデータ》' section includes %ScrName% (Script name (file name only)), %DwgCount% (Drawing count), %ClientName% (Client machine name), and %MailAddress% (Email address). The '《システム》' section includes %RequestPath% (Request folder), %ProcessingPath% (Processing folder), %NormalEndPath% (Normal end folder), and %ErrorEndPath% (Error end folder). The '《通知》' section includes %SendRequestPath% (Notification request folder) and %SendFinishPath% (Notification completion folder). The '※タグ※' section includes ClientName, MailAddress, Subject, and Body. At the bottom are buttons for '保存終了(S)' (Save and Exit) and '閉じる(C)' (Close).

3. BJ サーバー連続印刷の使用方法

クライアント側の設定完了後、クライアント側からの印刷依頼により連続印刷が行えます。
クライアント側の設定が未完了の場合、本書「Ⅲ.クライアント用アプリケーション」を参照し、設定を行ってください。

1. BJ サーバー連続印刷を実行します。



2. 依頼フォルダの監視が開始します。
監視待ち時間が 0 になった状態で、依頼フォルダに依頼ファイルが存在すると、CAD が起動し連続印刷が開始されます。
3. [今すぐ監視] をクリックすると、待ち時間に関わらず、すぐに監視を開始します。

<<このページは白紙です。>>

III. クライアント用アプリケーション

クライアント用アプリケーションのメニューについて説明します。

1. デスクトップアイコンとメニュー

BJ サーバー連続印刷 クライアント用アプリケーションのメニューと起動方法について説明します

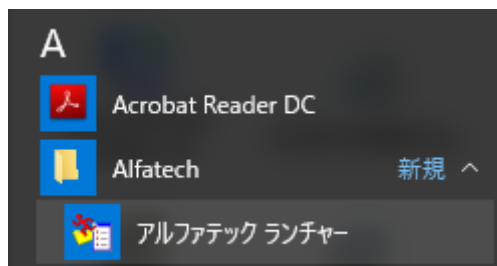
1. デスクトップアイコン

■ デスクトップアイコン



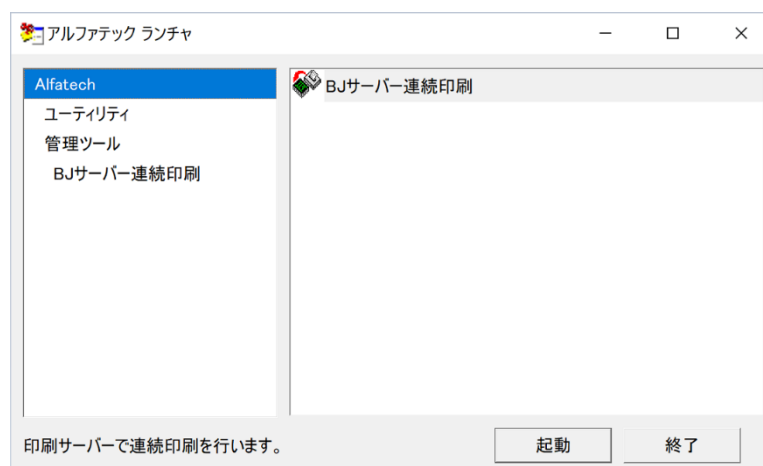
2. プログラムメニュー

[スタート] - [すべてのアプリ] - [A] - [Alfatech] - [アルファテックランチャー] を選択します。
アルファテックランチャーから各メニューを起動します。

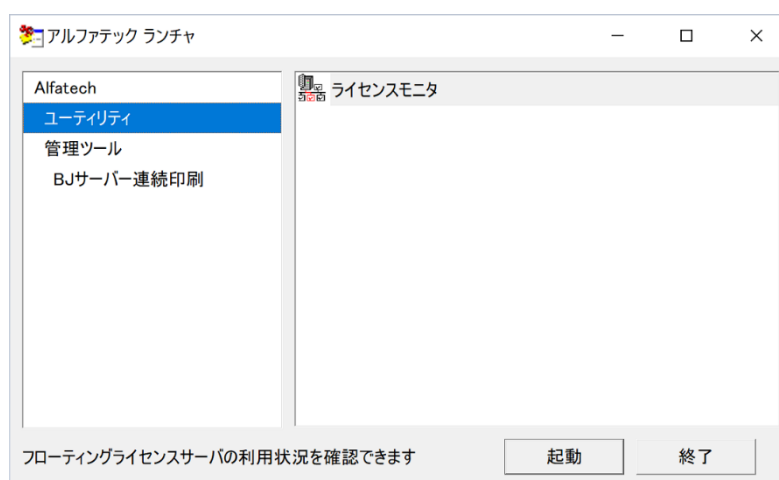


アルファテックランチャー

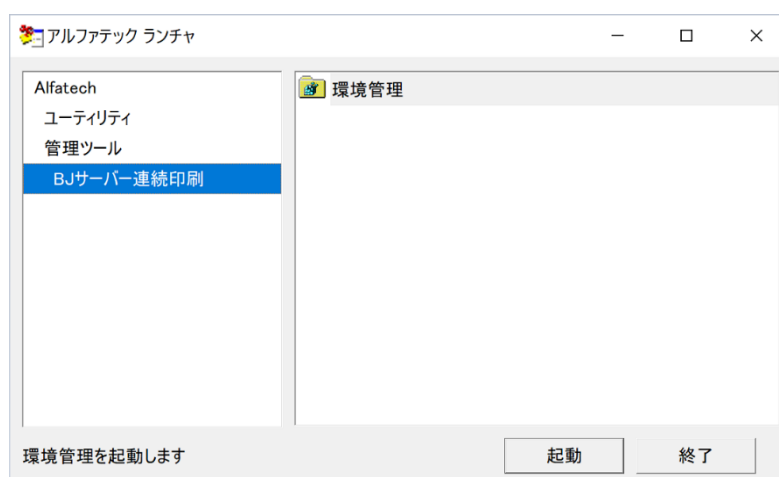
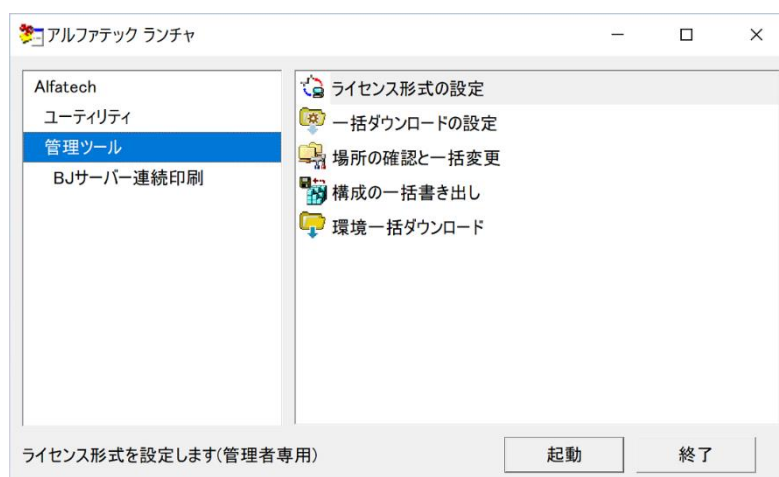
アプリケーション



ユーティリティ



管理ツール



2. クライアント用アプリケーション起動と設定

BJ サーバー連続印刷の設定について説明します。

メニューは Windows10 を例に説明します。

1. アプリケーションの起動

デスクトップのアイコンをダブルクリックして起動します。

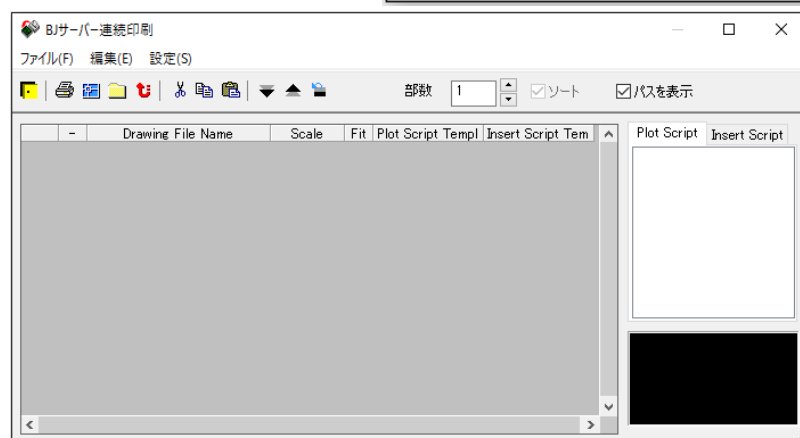
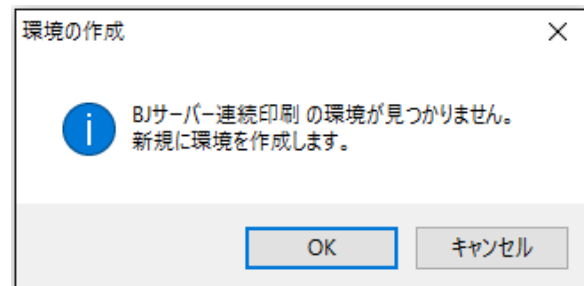
アルファテックランチャー、またはメニューの「BJ サーバー連続印刷 サーバー」を選択して起動します。

初回起動では、まだ環境が作成されていません。

メッセージが表示されます。

[OK]をクリックします。

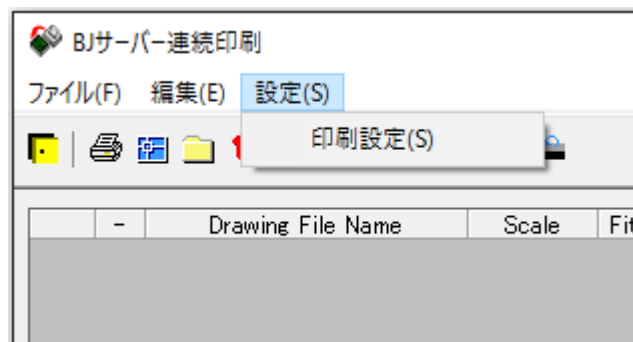
BJ サーバー連続印刷が起動します。



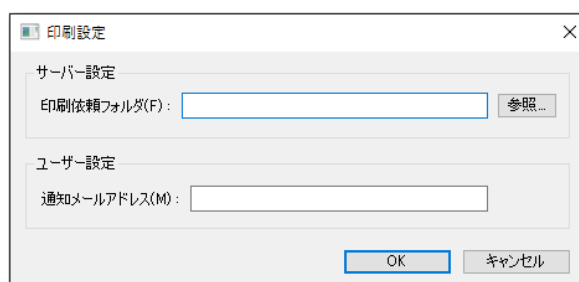
2. 印刷設定

連続印刷をサーバーに依頼する為のフォルダの設定を行います。

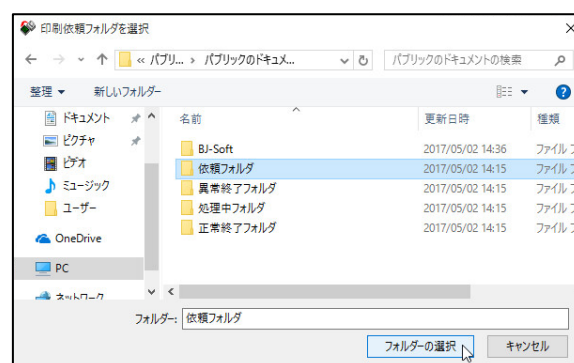
1.[設定]-[印刷設定]を選択します。



2. 印刷設定ダイアログが起動しますので、
[参照]ボタンをクリックします。



3. サーバー側で設定済みの依頼フォルダを
指示し、[OK]をクリックします。



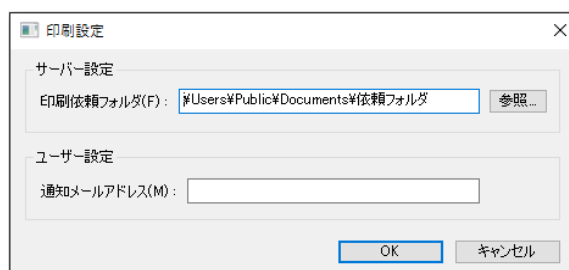
4. 印刷依頼フォルダにパスが表示されます。

ユーザ設定は任意です。

サーバーのシステム設定「通知」タブにて設定
が行われている場合のみ有効です。

必要に応じて依頼者の通知メールアドレスを
入力します。

[OK]をクリックします。



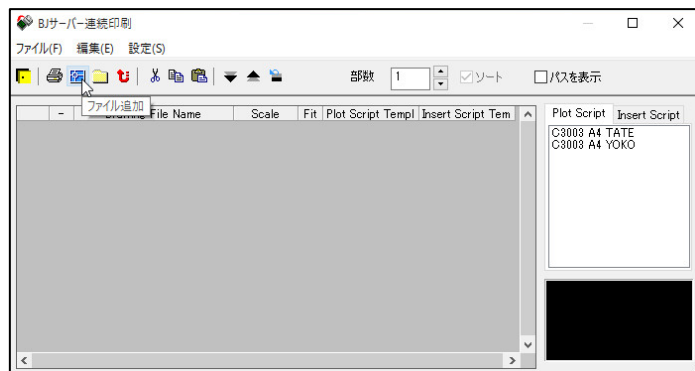
3. クライアント用アプリケーション

クライアント用アプリケーションで連続印刷の依頼を行う方法について説明します。

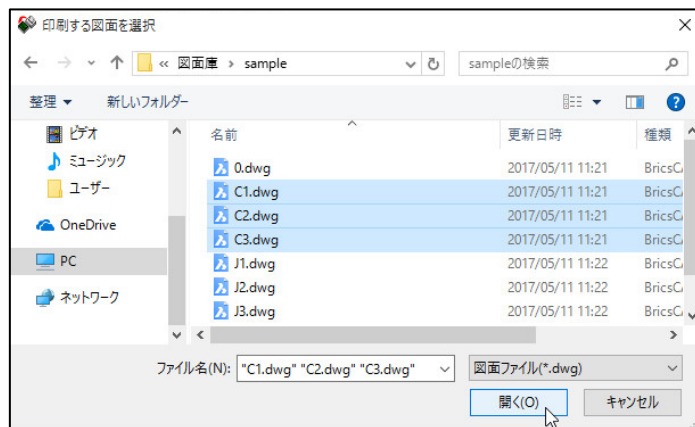
1. 印刷依頼

実際に印刷を依頼する手順です。

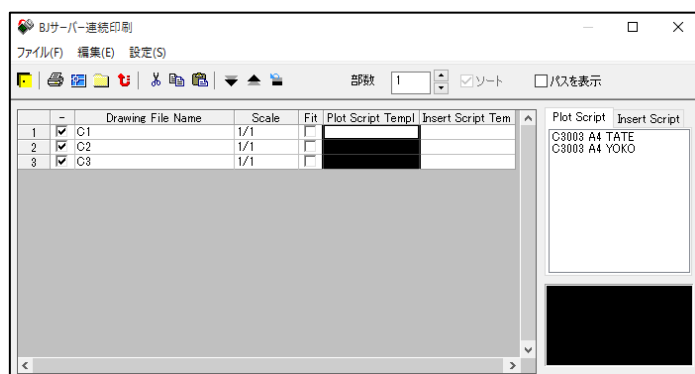
1. アイコンまたはスタートメニューから、BJ サーバー連続印刷を起動します。
2. ファイル追加ボタンをクリックします。



3. 印刷を行いたい図面を選択し、[開く]をクリックします。複数選択も可能です。



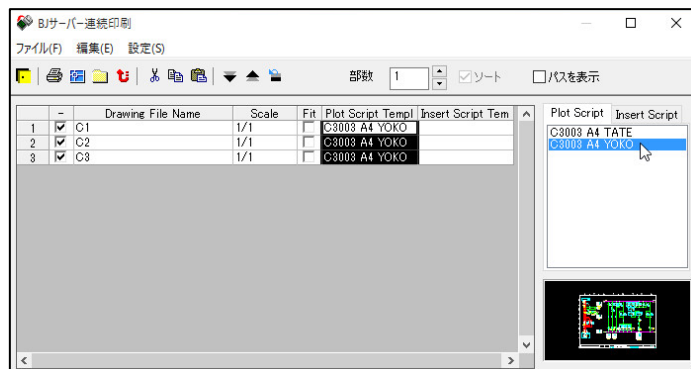
4. 図面名横の[PlotScriptTemplate]欄をドラッグし、選択します。



5. ダイアログ右側の[Plot Script]タブから、使用するスクリプトをダブルクリックします。

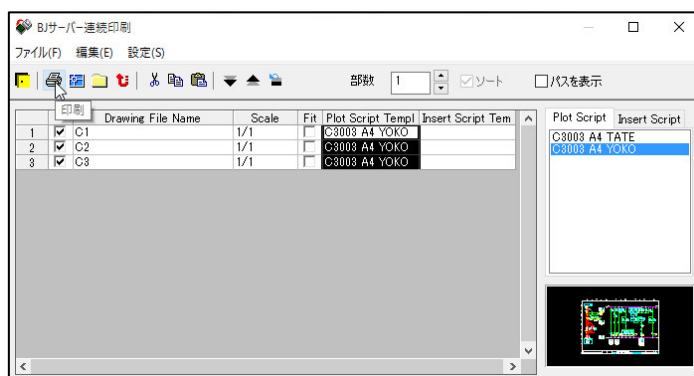
図面に対して使用するスクリプトが割り付けられました。

テンプレートの追加や修正は、サーバー側で行います。

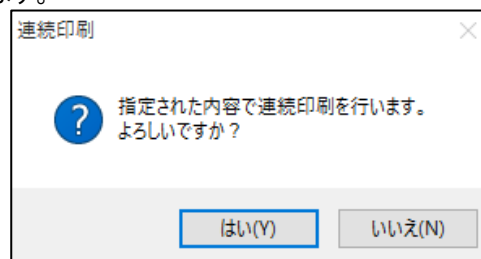


6. 引き続き挿入テンプレートを割り付ける場合、[InsertScriptTemplate]欄に、[Insert Script]のスクリプトを同様の手順で割り付けます。

7. 印刷ボタンをクリックします。

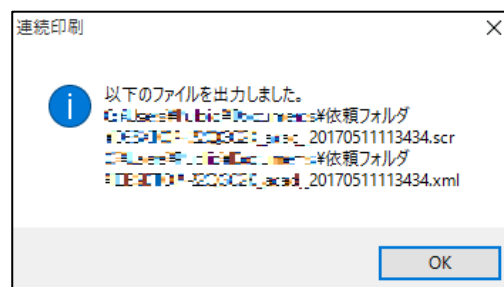


8. 確認ダイアログが表示されますので[はい]をクリックします。

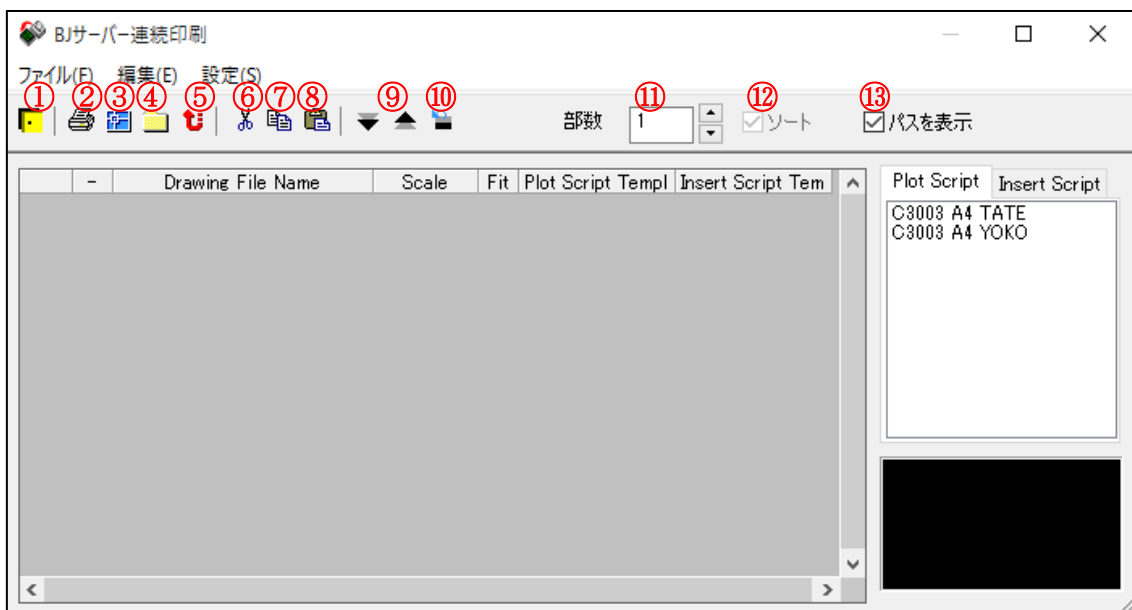


9. サーバー側の依頼フォルダに依頼が送信されます。

サーバー側の監視設定に基づいて、監視後に印刷が行われます。



2. 各種アイコンの説明



①終了ボタン: 連続印刷ダイアログを閉じます。

②印刷ボタン: ダイアログに表示されている順番で連続印刷処理を行います。

印刷する順番を変更したい場合は、移動ボタンで順番を変更してください。

③ファイル追加ボタン: 印刷を行いたいファイルを追加するときに押します。

④フォルダ追加ボタン: 印刷を行いたいファイルを、フォルダ毎追加するときに押します。

⑤除外ボタン: 選択したファイルを印刷対象から除外するときに押します。

⑥切り取りボタン: 選択セル情報を切り取ります。

⑦コピーボタン: 選択セル情報をコピーします。

⑧ペーストボタン: コピーまたは切り取りした情報を選択セルに貼り付けます。

⑨⑩移動ボタン: 印刷順番を変更します。

⑪部数: 印刷部数を指定します。

⑫ソート: 印刷部数が 2 以上の時に使用することができます。

この機能が有効な場合(デフォルト)、用紙が出力される順番が通常の印刷時とは異なります。

たとえば、1 ～ 3 ページまでを 2 部印刷すると、1 ～ 3 ページが順に印刷された後、さらに続けて 1 ～ 3 ページが印刷されます。このような順番で指定した部数分だけ印刷されます。

⑬パスを表示: 連続印刷対象のファイルのパスを表示します。

IV. プロットスクリプトテンプレート

連続印刷で使用するプロットスクリプトテンプレートファイルの設定と作成について説明します。

1. テンプレートフォルダの設定

プロットスクリプトテンプレートファイルの作成先フォルダについて説明します。

フォルダはサーバーとクライアントで共有されている必要があります。

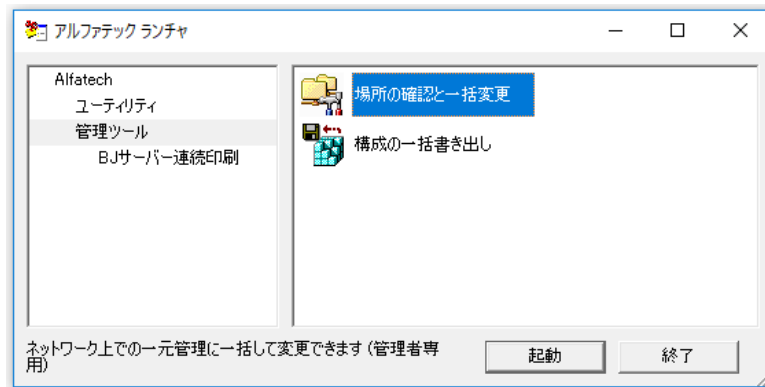
1. テンプレートフォルダの作成先について

印刷用のスクリプトテンプレートの保存先は、サーバーとクライアントで同じ場所を指定します。

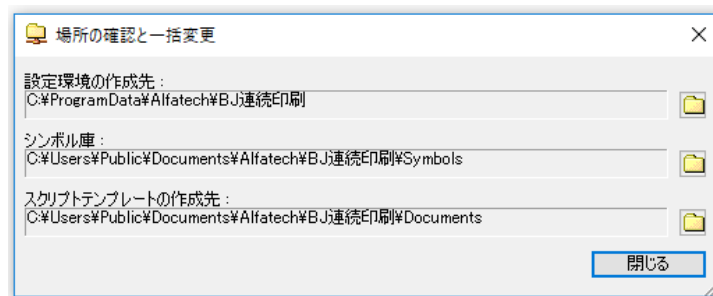
メニューは Windows10 を例に説明します。

2. サーバー側の設定

1. アルファテックランチャーを起動します。[Alfatech]-[管理ツール]を選択し、[場所の確認と一括変更]をクリックします。



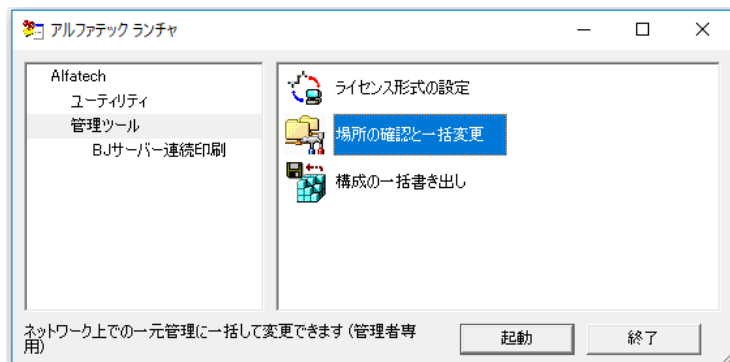
2. ユーザーアカウント制御が表示された場合、[はい]をクリックし、引き続き設定を行います。
3. 場所の確認と一括変更ダイアログが表示されますので、[スクリプトテンプレートの作成先]に設定されているパスを確認します。



ここで指定するフォルダはサーバーとクライアントで共有されている必要があります

3. クライアント側の設定

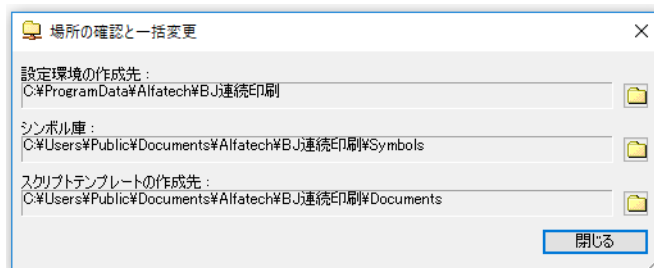
1. アルファテックランチャーを起動します。[Alfatech]-[管理ツール]を選択し[場所の確認と一括変更]を選択します。



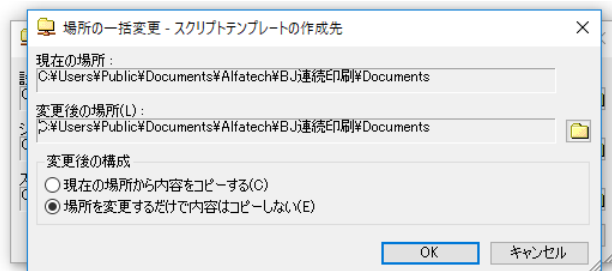
2. ユーザーアカウント制御が表示された場合、[はい]をクリックし、引き続き設定を行います。

3. 場所の確認と一括変更ダイアログが表示されます。

[スクリプトテンプレートの作成先]のパス右側のフォルダアイコンをクリックします。



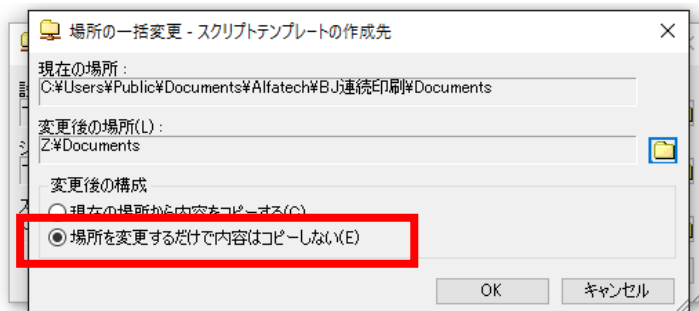
4. [変更後の場所]右側にあるフォルダアイコンをクリックします。



5. サーバー側手順で指定したフォルダを選択します。[OK]をクリックします。

6. 「場所を変更するだけで内容はコピーしない」が選択されていることを確認します。

[OK]をクリックします。



2. プロットスクリプトテンプレートの作成

連続印刷に使用する印刷用スクリプトの作成方法をご案内します。

1. 標準テンプレート

標準テンプレートファイルとは、連続印刷を行う時に指定するファイルです。

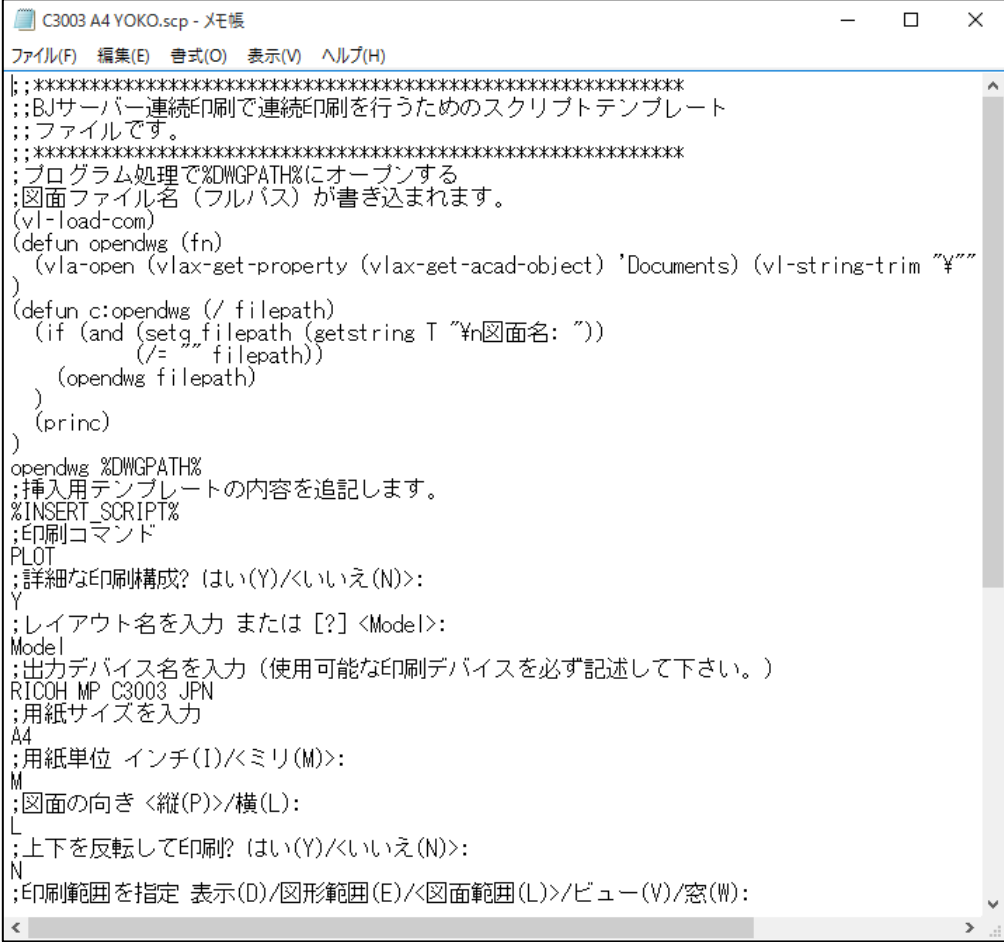
標準テンプレートには、CAD の印刷コマンドを行う為の基本的な記述がされています。

連続印刷を実行すると、選択図面を開きながら記述内容を繰り返し実行します。

標準テンプレートの表示例

連続印刷を実行すると、図面に対して左の例のような処理を CAD に対して繰り返し実行します。

(イメージは BricsCAD V17 に使用するスクリプトの例です。)



```

|*****|
::BJサーバー連続印刷で連続印刷を行うためのスクリプトテンプレート
::ファイルです。
|*****|
;プログラム処理で%DWGPATH%にオープンする
;図面ファイル名 (フルパス) が書き込まれます。
(vl-load-com)
(defun opendwg (fn)
  (vla-open (vlax-get-property (vlax-get-acad-object) 'Documents) (vl-string-trim "¥"
)
)
(defun c:opendwg (/ filepath)
  (if (and (setq filepath (getstring T "図面名: "))
    (/= "" filepath))
    (opendwg filepath)
  )
  (princ)
)
opendwg %DWGPATH%
;挿入用テンプレートの内容を追記します。
%INSERT_SCRIPT%
;印刷コマンド
PLOT
;詳細な印刷構成? (はい(Y)/いいえ(N)>:
Y
;レイアウト名を入力 または [?] <Model>:
Model
;出力デバイス名を入力 (使用可能な印刷デバイスを必ず記述して下さい。)
RICOH MP C3003 JPN
;用紙サイズを入力
A4
;用紙単位 インチ(I)/ミリ(M)>:
M
;図面の向き <縦(P)/横(L)>:
L
;上下を反転して印刷? (はい(Y)/いいえ(N)>:
N
;印刷範囲を指定 表示(D)/図形範囲(E)/図面範囲(L)/ビュー(V)/窓(W):

```

2. 標準テンプレートの作成

1. プロットスクリプトテンプレート管理を起動します。

Windows11、10 の場合

[アルファテックランチャー] を起動し、
[Alfatech]-[管理ツール]-[BJ サーバー連続
印刷サーバー]の[プロットスクリプトテンプレ
ート管理] を選択し[実行]をクリックします。

2. **[追加]** ボタンをクリックします。

3. プロットスクリプトテンプレート作成ダイア
ログが表示します。

テンプレート名を入力します。

プリンタ名称 + 用紙サイズ + 方向
などが、一般的に管理しやすい名称です。

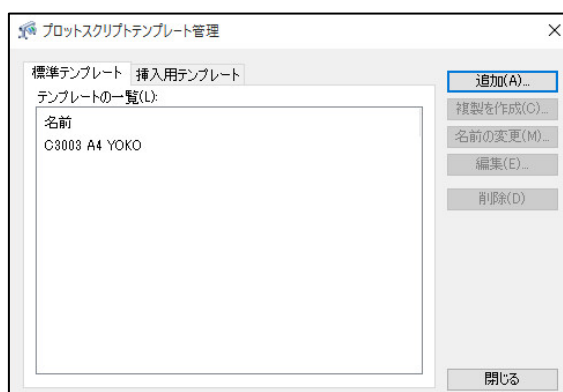
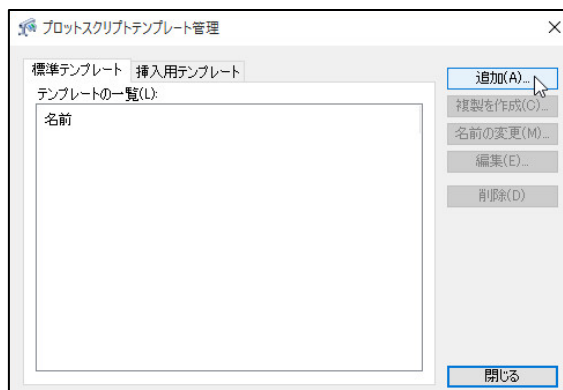
4. 印刷に使用する印刷デバイスと、用紙サイ
ズを設定します。

5. その他の項目を設定します。

6. 設定が終わりましたら、**[OK]** ボタンをクリッ
クします。

7. 作成しテンプレートが追加されます。

[閉じる]をクリックします。



3. 挿入テンプレートの作成

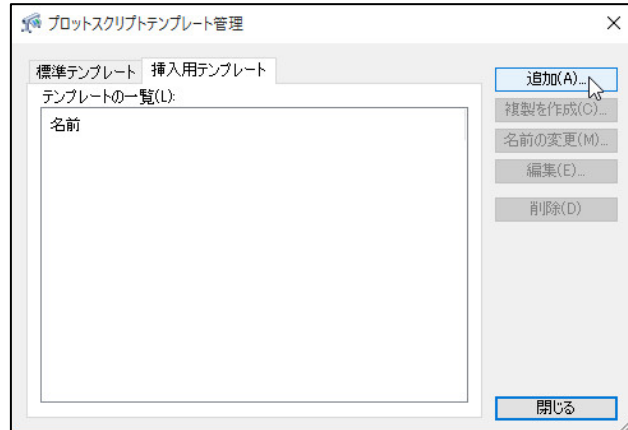
挿入テンプレートファイルとは、連続印刷中に挿入するスクリプトを記述するファイルです。

例えば、印刷中に指定画層をフリーズさせる内容を追記して、印刷中に処理を行う事ができます。

1. プロットスクリプトテンプレート管理を起動します。

Windows11、10 の場合

[アルファテックランチャー] を起動し、
[Alfatech]-[管理ツール]-[BJ サー
バー連続印刷サーバー]の[プロットス
クリプトテンプレート管理] を選択し[実
行]をクリックします。

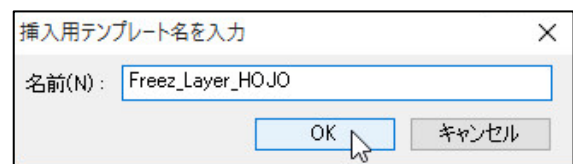


2. [挿入用テンプレート] タブをクリックします。

3. [追加] ボタンをクリックします。

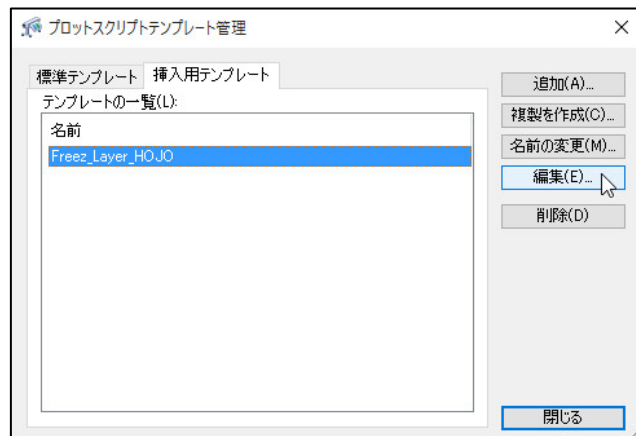
4. 挿入用テンプレート名を入力します。

イメージは HOJO という画層をフリーズする
テンプレート名の例です。



5. 追加された挿入テンプレートを選択し、

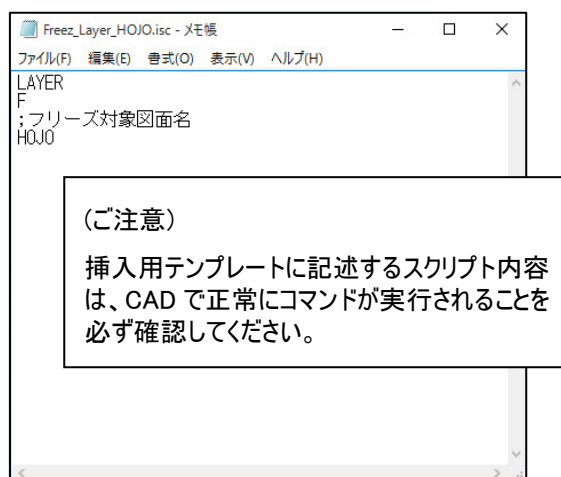
[編集] ボタンをクリックします。



6. メモ帳が表示されますので、
印刷時に実行したいスクリプトを入力します。
イメージは一例です。

[-Layer]コマンドを使用して、HOJO 画層を
フリーズする記述例です。

7. 保存して、メモ帳を終了します。



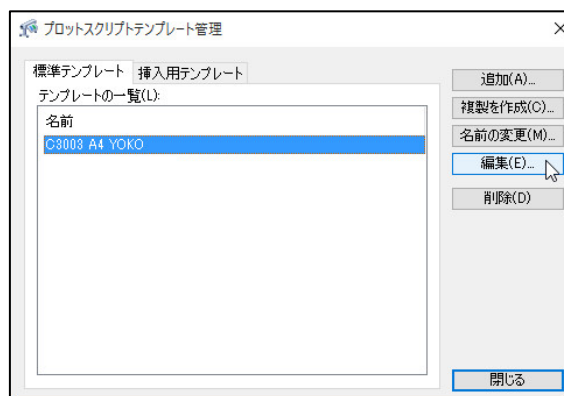
4. 作成済みテンプレートの編集

作成済みのテンプレートはメモ帳で編集を行います。

1. プロットスクリプトテンプレート管理を起動します。

Windows11、10 の場合

[アルファテックランチャー] を起動し、
[Alfatech]-[管理ツール]-[BJ サーバー連
続印刷サーバー]の[プロットスクリプトテン
プレート管理] を選択し[実行]をクリックしま
す。



2. 編集を行いたいスクリプトを選択し、[編集] ボタンをクリックします。

3. メモ帳が立ち上がりますので、変更したい箇所を編集します。

用紙サイズを A4 から A3 に変更する例を紹介します。

```
;レイアウト名を入力 または L? <Model>:
Model
;出力デバイス名を入力 (使用可能な印刷デ
RICOH MP C3003 JPN
;用紙サイズを入力
A4
```



```
Model
;出力デバイス名を入力 (使用可能な印刷デ
RICOH MP C3003 JPN
;用紙サイズを入力
A3
;用紙単位 インチ(I)/<ミリ(M)>:
M
;図面の向き <縦(P)/横(H)>:
```

<<このページは、白紙です>>

V. PDF 振り分けオプション

PDF 出力時の振り分けオプションに関して説明します。

1. PDF 振り分けオプションの設定

PDF 振り分け設定を有効とする場合に必要な設定について説明します。

オプションの有効/無効の設定は、[設定]-[システム設定]の”呼出プログラム”タブにて行います。

(デフォルト: チェック OFF)

有効にすることで PDF 出力時、自動的にユーザー毎の指定フォルダへファイルを振り分けることができます。



1. PS_pdf.ini の設定

PDF 振り分け設定を有効とする場合、設定ファイル(PS_pdf.ini)にて「PDF 出力先」と「PDF 振り分けの基点パス」を指定します。

PS_pdf.ini をメモ帳もしくはエディタで編集してください。

(PS_pdf.ini 保存先パス)

C:\Program Files\Alfatech\PS_pdf.ini

設定例:

```
[ENVIRONMENT]
PDFPATH=C:\PS\PDF\PDFPATH
OUTPATH=C:\PS\PDF\OUTPATH
```

PDFPATH には、サーバーにて生成される PDF ファイルの保存先を指定してください。

(サーバーのみが参照できるローカルフォルダで可)

OUTPATH には、PDF 振り分け処理をするフォルダの基点となるフォルダを指定してください。

各クライアントから参照できる共有フォルダの指定が必要です。

2. PDF 振り分けオプションの動作と仕様

1)スクリプトの実行が正常終了した場合の処理

＜PDFPATH＞に生成されている全ての.pdf ファイルを ＜OUTPATH＞¥＜依頼者名＞フォルダに移動します。

2)スクリプトの実行が異常終了した場合の処理

＜PDFPATH＞に生成されている全ての.pdf ファイルを ＜OUTPATH＞¥＜依頼者名＞¥FAIL フォルダに移動します。

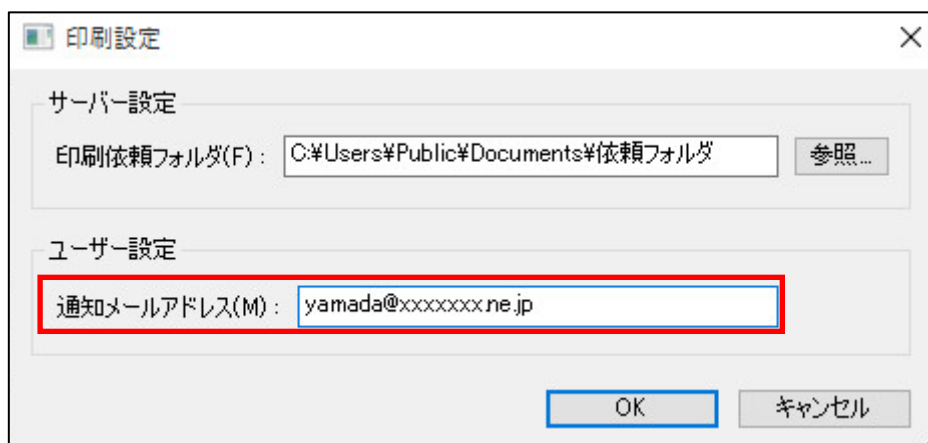
3)スクリプトが何も実行されていない場合の処理

＜PDFPATH＞に存在する全ての.pdf ファイルを ＜OUTPATH＞¥NOBODY フォルダに移動します。

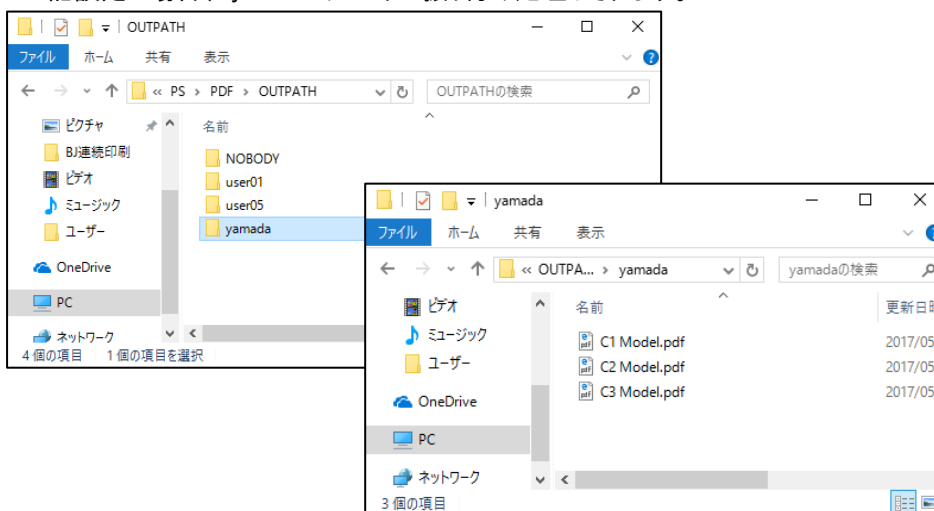
※FAIL、及び、NOBODY は固定名です。

＜依頼者名＞は、クライアントの[設定]-[印刷設定]にて設定されている通知メールアドレスの”@”より前の部分となります。

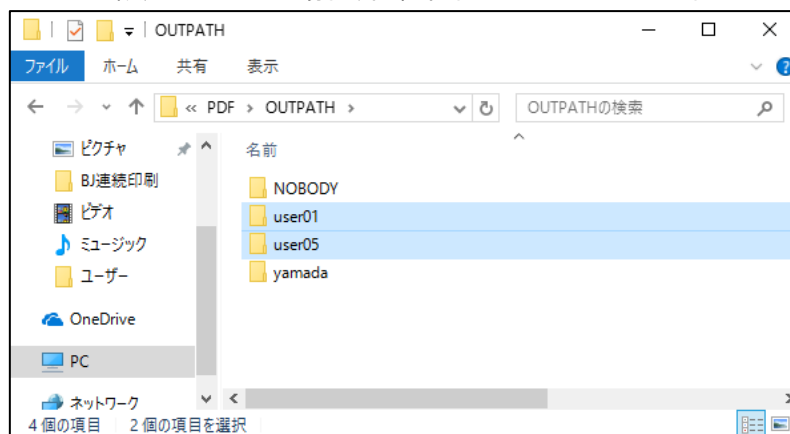
設定例：



上記設定の場合、”yamada”フォルダに振り分け処理がされます。



メールアドレスが設定されていない場合、依頼者名は”クライアントマシン名”となります。



BJ サーバー連続印刷ユーザーガイド

2021 年 11 月 第 1 版発行

2022 年 12 月 第 3 版発行

発行者

図研アルファテック株式会社

<https://www.alfatech.jp/>
